

【編集後記】

昨年からの準備期間を経て、ようやく京都第一赤十字病院の雑誌の発刊にこぎつけました。一冊の雑誌ができるまでには、他誌を参考にすることから始まって、編集の方針の決定、表紙の募集、論文の募集、査読、出版社との交渉など、予想した以上に沢山の作業がありました。これは関係職員の献身的な努力なしにはできなかったことでした。この場を借りて、改めて雑誌の発刊にたずさわった方々には感謝とお礼の言葉を捧げたいと思います。

私が本院に赴任して以来、京都第一赤十字病院は診療のアクティビティの高さに比較して、発表論文が少ないのが残念であると思っていました。依田前院長もその点を心配して、「第一日赤の雑誌」が必要と考えていました。医療には診療・教育・研究の3つの側面があります。それらがバランスよく行われることが医療の健全な発展にとっても大切なことであり、それは本院のような医療の最前線で闘う病院であっても変わりありません。医療関係者にとって論文を完成させることは、診療の深さを増し、相互に教育を行う良い機会になります。今回の雑誌の創刊がそのような場の一つとして機能することを深く望んでいます。

今回投稿された論文の大部分は若い方々の熱意を感じさせる、将来性を秘めたものだったと思います。しかし科学論文としての形式が取れていないために、そのままでは論文として掲載できないものが多く、査読の先生方も大変苦勞されていました。今後は若い方々の教育のために、共著の方々の適切な指導をお願いしたいと思います。
(文責 浦田 洋二)

<医学雑誌編集委員会名簿>

委員長	福田 互	副委員長	奥山 祐右		
委員	木崎 善郎	浦田 洋二	白石 淳	井上 敦夫	大西 重樹
	土谷 有美	澤 悟史	宮下 誠	大場 寿恵	田中由美子
査読者	塩飽 保博	平岡 範也	上島 康生	西村 陽	三神 一哉
	大久保智治				
事務局	佐野友妃子	中塚 彩奈			

<第2号発刊に向けて - 論文投稿のお願い - >

病院職員の学術活動への熱意の発露ともいえる京都第一赤十字病院医学雑誌第1巻1号が発刊できました。編集委員会としては次年度以降ますます充実した内容で発刊を続けていく所存ですので、次号にも奮っての投稿をお願いします。なお、投稿していただく際に下記の基本的な事項に関してぜひご留意をお願いします。

- (1) 投稿に当たって筆頭著者はすべての共著者に投稿することについての了解を得てください。とりわけ最終著者・責任著者には、必ずその原稿の校閲を受けてください。
- (2) 症例報告などでは、協力診療科を共著者に入れることを忘れないで下さい。
- (3) 次号から原則的に倫理審査を投稿の要件に加える予定です。臨床研究の開始時には倫理審査を受けてください。

平成30年11月1日 印刷
平成30年11月1日 発行

編集者 京都第一赤十字病院
医学雑誌編集委員会
発行者 池田 栄人

京都第一赤十字病院
〒605-0981 京都市東山区本町15丁目749番地
電話 (075) 561 - 1121(代)

印刷 信和印刷株式会社
京都市伏見区下鳥羽但馬町117番地
電話 (075) 603 - 4444